



受付日：令和2年1月24日
受付番号：HP20-KT019

接合部性能試験成績証

東京都港区海岸
ニューピア竹芝ノースビル17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 吉田正司

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和2年6月23日

1. 接合金物名称	FP-55
2. 試験依頼者	株式会社 栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9 株式会社 ダイドーハント 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1-5-5
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「FP-55」1個 材質：SPHC (JIS G 3131) 寸法：(外形)105mm×105mm×136mm 板厚t=6mm ドリフトピン用孔；5-φ13mm ボルト用孔；4-φ13mm 表面処理：生地*1</p> <p>2) 接合具</p> <p>「FPN-105」5本 材質：SWRM8相当材として以下に掲げる鋼線*2 SWRM8(JIS G 3505) SWRM10(JIS G 3505) Q195(GB/T701-2008*3) 寸法：φ12mm L=103mm 先端絞りφ9mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610)</p> <p>「全ねじボルト M12×70」4本 材質：SWRM8(JIS G 3505) 寸法：M12 全長L=70mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610)</p> <p>「六角ナット M12」4個 材質：SWCH8R(JIS G 3507-2) 寸法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610)</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材：105mm×105mm×575mm JAS 同一等級構成構造用集成材 スプルーース E95-F315 含水率：9.0～12.0% 全乾密度：0.37～0.39g/cm³</p> <p>*1 JIS H 8610 電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn 8/CM2 *2 試験ではQ195を使用した *3 中国国家標準規格(GB規格)</p>
6. 試験条件等	試験体は、実状に合わせた仕様とした。ただし、「座金t=19.0×40×105」2枚は試験結果に影響しないため省略して試験に供した。 試験体の固定は、「全ねじボルトM12」4本「M12六角ナット」4個を用いて、専用治具にて20N・mのトルク値にて固定した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 55.0 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和2年3月12日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 千葉 博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。